

和歌山への私の提言

胡 雨婷

(経済学部 正規留学生) (中国)

和歌山っていう名前は友たちからはじめて聴かれました。和歌山に対しての印象は環境いいし、生活しやすい、まだ、いなかです。

初めて和歌山いたのは和歌山大学の入学試験です。その時、すごく寒い、大雨したり、バスもない、自分一人しかいない、やっぱりいなかですと思いました。和歌山大学入いたあとは日本事情っていう授業を受けました。そして、発表を準備するために和歌山市駅とJR和歌山駅に行って、えきのスタッフさんからいろいろなこと紹介してくれました。

最初紹介したのは和歌山市駅です。和歌山市駅の仕組みは南海本線と高島屋と駐車場とバスのりばと広場です。人たちはデパートにいて、買い物にして、すぐバスをのり、帰ることができます。すごく便利だとおもいます。そして、バスのりばの看板はどこがいきたいとか、何番のりとか、本当にわかりやすいです。外国人としてもわかりやすいです。でも漢字だけ書いてます



から、漢字以外の国の人は大変と思います。もし英語とかロマジ書いたら、もっと便利かもしれません。自動販売機もたくさん置いてます。しかし、和歌山市駅の食事するところはすぐないです。みんなもし高島屋買い物に行って、疲れたら、休むとこのもないし、コンビニもないし、喫茶店もないです。市駅よりj r和歌山行ほうがいきたいです。



和歌山市駅終わたら、歩いてj r和歌山駅行きます。その間に和歌山市様々なことを見ました。一番いいところは友たちいう通りに、環境がすっごくいいとおもいます。道で車もすぐない、人もすぐない、とても静かです。地下鉄がないですから、人たちは自転車したり、バスをのり、社会規則も守るし、非常に感動しました。



和歌山駅に比べて、jr和歌山すっごくにぎやかとおもいます。MIOや阪急デパートがありますから、人は集まることができます。デパートのうえレストランがあり、喫茶店もあります。しかし、閉店の時間が少し早いです。営業時間がさらに長くて、市民に対して便利だと考えます。